

6月定例記者会見要旨

外は真夏の日差しが降り注ぎ、厳しい暑さとなっておりますが、ここ数日梅雨の晴れ間が多く見られようになりまして、梅雨明けも近いのかなと感じております。

この季節、龍ヶ崎市では野山の新緑と相まって田んぼがとても美しい時期を迎えておりますが、市民アンケートでも「市内で一番好きな場所」として、多くの方が「田んぼ」を挙げていらっしゃいます。米どころ龍ヶ崎の大切な生産資源であるとともに、景観資源としても大変価値あるものと、改めて感じております。

青々と茂った稲が風にそよぐ様子も清々しくて気持ちのいいものですが、この時期、水面に映る青空や夕日の美しさも、また格別です。こうした風景が見られるのも、今の時期だけですので、市民の皆様におかれましては、熱中症に気をつけながら、龍ヶ崎市の田園散歩をお楽しみいただければと、考えております。

さて情報提供の前に、本日もスポーツの話題を二三ご紹介いたします。

「サッカーワールドカップロシア大会」で日本代表が2大会ぶりの決勝トーナメント進出を決め、興奮冷めやらぬところですが、コンディショニングコーチとして、日の丸を背負う選手たちを支えているのが、流通経済大学スポーツ健康科学部の小粥智浩(オガイ トモヒロ)教授です。

世界で戦うためには、技術や戦術に加えて、フィジカル面を高めることが不可欠です。小粥コーチは、選手がピッチで最高のパフォーマンスを発揮できるように、彼らの体づくりを支えています。

決勝トーナメントでは、体力的にもより厳しい戦いが予想され、選手のコンディショニングが勝敗に大きくかかわってくると思いますので、小粥コーチには決勝トーナメントに向けて、さらなる活躍を期待しているところです。

次のスポーツの話題は、先月もお知らせした「龍ヶ崎市の誇るフリークライマー」野口啓代選手の活躍の続報です。ワールドカップでは、6月3日に東京都八王子市で行われたボルダリング第5戦で今季3度目の優勝に輝き、続くアメリカでの第6戦でも3位入賞と、初戦から6連続の表彰台登壇を果たし、快進撃は今月も続いています。

そして国内では6月24日、東京オリンピックの強化を目的に新設された「複合ジャパンカップ」で見事、初代女王に輝きました。

同大会は東京オリンピックのスポーツクライミング競技と同じく、ボルダリング・スピード・リードの3種目の総合ポイントで競われますことから、今大会での優勝は、野口選手にとって東京オリンピックに向けての大きな自信になったのではないかと考えております。

そしてもう一人、本市の誇るアスリートで、東京オリンピックでの活躍が期待されております陸上・女子やり投げの斉藤真理菜選手が、6月23日山口県で行われた日本選手権で、見事優勝を果たしました。

昨年は世界陸上への出場の後、「学生のオリンピック」といわれるユニバーシアード大会で銀メダルに輝き、今季は広島県で行われた「織田幹雄（おだみきお）記念国際陸上競技大会」で優勝を果たすなど、その急成長ぶりが話題になっております。

東京オリンピック開幕まで約2年となりましたが、野口選手・斉藤選手ともに、最後まで集中力を切らさず頑張って、揃ってオリンピックで活躍してくれることを祈っております。

話は変わりますが、このほどインターネットのランキングサイト「gooランキング」で、龍ヶ崎市が「“日本一強そうな市の名前”ランキング」で第1位に輝きました。龍ヶ崎市が同ランキングサイトで1位を獲得するのは、昨年の「“やたらカッコ良い市の名前”ランキング」に続き2度目で、

「“龍”という漢字が、仁義を重んじる男の世界を連想させる」といった意見が多く、1位に選出されたそうです。

ちなみに、2位は秋田県男鹿市、3位は福岡県太宰府市となっています。

また、ランキング関連でもう一つお知らせですが、日本経済新聞社などが実施している大学イメージ調査で、流通経済大学が「採用を増やしたい大学」で2位にランキングされました。

この調査は、同社が上場企業と有力非上場企業の人事担当者を対象に、採用した学生から見た大学のイメージなどを聞いたもので、流通経済大学は「地域に根付いているイメージが強い」などの評価で、1位の弘前大学に次いで2位にランキングされております。

「地域に根付いているイメージが強い」という評価につきましては、当市の「龍・流連携」も、一役買っているのかなと、市といたしましても大変喜んでいただいております。

それでは、本日の情報提供を始めさせていただきます。

初めに今年7月29日に予定されております「撞舞」についての情報です。

今年の「撞舞」は、7月27日から開催される八坂祇園祭の最終日、7月29日の日曜日に開催されます。時間と場所は変わらず、夕刻から根町の撞舞通りとなります。例年ですと午後6時頃からの演技開始となっております。

また、今年も昨年同様撞舞保存会と観光物産協会が協力して、市内の子どもたちを会場に招待するそうです。撞舞の迫力やその素晴らしさを直に感じた子どもたちが、将来、撞舞継承の担い手になってくれればと、期待をしているところでもあります。

現在、市役所南側駐車場では、毎週日曜日に本番に向けて熱のこもった練習が行われておりますが、今年は2人の舞男のほか、新しい舞男候補者も練習に励んでいるとのことですので、今後が楽しみなところです。

続きまして、「撞舞」のイベントとして開催いたします「龍ヶ崎の撞

舞を見て！着て！学ぼう！！」の情報です。

これは、市民の皆さんが、7月29日の「撞舞」をより楽しんでいただけるよう、事前にその歴史や見どころなどについて学習する機会を設けるもので、7月14日・15日の2日間、龍ヶ崎市市民交流プラザで開催いたします。

当日はDVD鑑賞やパネル展示を行うほか、お子様には、「撞舞」で華麗な妙技を披露する「舞男」に扮することができる「なりきり舞男セット」をご用意いたしました。

テーマパークなどでは、様々なキャラクターの衣装で記念撮影をする機会があるかと思いますが、舞男の衣装でというのは、なかなかないのではないかと思いますので、この機会にぜひお子様とご来場いただき、かわいい“なりきり写真”をお撮りいただければと思います。

続きまして、「親子で楽しく学べるキッズプログラミング体験会」の情報です。

龍ヶ崎市市民交流プラザでは、7月から8月の夏休み期間中、様々な講座やイベントの開催を予定しておりますが、7月22日には、そのひとつとして「親子で楽しく学べるキッズプログラミング体験会」を開催いたします。

2020年度から小学校でプログラミング教育が必修化されることとなり、プログラミング教室に注目が集まっていますが、この体験会も、昨年度行った市民交流プラザの利用者アンケートで、希望が多かったことから開催が決定したものです。

当日は、タブレットに指で魚を描いて動きをプログラミングで作成し、みんなの水族館を作って遊びます。プログラミングという言葉が聞くと難しく感じられますが、キーボードも使わず、難しい用語も使いませんので、小さなお子さんでも楽しくプログラミングを学ぶことができます。使用するタブレットも無料で貸し出しを行いますので、この機会にぜひチャレンジしてい

ただければと思います。

続きまして中央図書館の「赤ちゃんタイム」1周年記念イベントについての情報です。

中央図書館では、赤ちゃんや小さい子連れでも気兼ねなく利用いただくために、昨年6月から毎月1回「赤ちゃんタイム」を設定し、泣いたりぐずったりする小さなお子さんの利用に理解を求め、お父さんお母さんが利用しやすい図書館を目指しています。

「赤ちゃんタイム」では0歳児から4歳児を対象にした「こぐまちゃんのおはなし会」の終了後に、参加した親子がくつろぎながら、互いに育児情報の交換を行ったり、図書館スタッフが読み聞かせを行ったりしています。

また、例えば参加者の間で離乳食の作り方が話題になれば、すぐにスタッフが離乳食の本を用意して、ご紹介するといったサービスも行っており、参加者の皆様には大変好評をいただいております。

この「赤ちゃんタイム」の開始1周年を記念して、中央図書館では7月10日に「親子でベビーヨガ」の講座を開催いたします。当日は市の人材バンクの登録講師で、現役ママが講師となり、お母さんが赤ちゃんの体をほぐす「ベビーヨガ」とお母さんの「骨盤調整ヨガ」を行います。

募集開始後すぐに定員がいっぱいとなり、定員枠を拡大するほど人気のイベントです。記者の皆様には、ぜひ取材のほうをよろしくお願いいたします。

最後になりますが、先日情報提供をさせていただきました非核平和推進事業での写真展『対馬丸ー沖縄戦学童疎開中に沈められた船ー』のご案内です。

この写真展につきましては、同じく非核平和推進事業として今年8月に行う「中学生の沖縄派遣」に併せて開催するもので、期間は平成30年7月7日から22日まで、会場は市歴史民俗資料館となります。こちらも取材いただけますと幸いです。

以上で、本日の情報提供を終わりとさせていただきます。なお、詳細につ

きましては、このあと担当から説明させていただきます。